



声のラン

声

広報ちとせ4月号を読みました。

特集記事の中の市政執行方針で、市が優先的に取り組む課題への対応に「自衛隊の体制強化」が書かれています。

市内には昔から自衛隊の駐屯地などがあると思うのですが、今なぜ、自衛隊の体制強化が必要なのですか？

答

市内には、陸上自衛隊の2つの駐屯地と航空自衛隊の1つの基地があります。

まちと自衛隊の歴史は、昭和25年に警察予備隊が設置され、昭和27年には、自衛隊の前身である保安隊千歳駐屯地が開設されたことから始まりました。

現在、市の人口の約3割が自衛隊員とその家族であり、まちは、自衛隊とともに発展してきました。

北海道の自衛隊は、国の防衛組織として北の守りを担うとともに、大きな災害が起きたときに、私たちを守ってくれる大切な存在です。

東日本大震災のときは、北海道内の部隊から派遣された隊員による救出活動や生活支援活動により、多くの方が助けられました。

このような大きな自然災害が発生したとき、人の生死を分けるのは災害発生から72時間といわれています。そのため地元で自衛隊がいることが、私たちの命を救う大きな力に

自衛隊の体制強化は、なぜ必要なのですか？

なります。

また、隊員の皆さんは、町内会活動や社会活動などにも積極的に参加し、地域の活性化、教育文化の振興などに貢献しています。

ここ数年、北海道の自衛隊は、削減・縮小が続いています。部隊が縮小し隊員が減ると、災害が発生したときの対応や地域経済などに大きく影響します。

現在、国では、日本周辺の安全保障環境に的確に対応するため自衛隊を増強する方針を示しています。

市も、北海道の全市町村と協力し、地域の安全と活力を守るため、自衛隊の体制を強化するよう活動を続けていきます。

危機管理課渉外係
☎(24)0147



隊員の皆さんは、万が一の事態に備え、日々の訓練にはげんでいます。

《50歳代男性》

【ワンポイントメモ】

市内の駐屯地・基地では、子どもから大人まで楽しめる創立記念行事を行います。

- ・第7師団創隊記念行事 6月2日(日)
(東千歳駐屯地)
- ・第1特科団創隊記念行事 6月29日(土)
(北千歳駐屯地)
- ・千歳基地航空祭 8月4日(日)

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】